

学部 / 看護専門領域 / 看護の発展

科目コード : 120517

国際看護論 Global Health Nursing

担当教員	谷本 千恵				
実務経験	病院等の勤務経験のある教員が担当している。				
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	グローバルヘルス、国際機関、国際看護活動、持続可能な開発目標 (SDG s)、ミレニアム開発目標 (MDG s)、多文化共生社会、国際協力				
学習目的・目標	【目的】 国際的な視野から健康課題や看護問題を考えることができ、国際社会で活躍できる能力を養う。 【目標】 グローバルヘルスの現状と課題、国際機関の役割や国際保健政策、国際看護活動について理解し、看護の国際協力の実際や日本における多文化共生と看護の役割について考察する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	グローバル化と国際看護				
2-3	国際看護活動の実際				
4-5	Global Health Issue (国際的な保健医療の課題), SDG s, 国際協力の諸機関と役割				
6-7	異文化理解と国際看護活動				
8	まとめ				
教科書	田村やよい他: 新体系看護学全書 看護の統合と実践3 国際看護学 (メヂカルフレンド社)				
参考図書等	国際看護研究会編: 国際看護学入門、医学書院 南裕子監修: 国際看護学 グローバルナーシングに向けての展開、中山書店 柳澤理子編著: 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて、PILAR PRESS その他随時提示する				
評価指標	試験 (レポート) 100% (授業回数の2/3以上の出席者を評価対象とする。)				
関連科目	国際看護演習I・II・III、看護学概論、医療経済学、医療人類学、英語III				
教員から学生へのメッセージ	日本は多文化共生社会を目指しており、今後外国人の患者や同僚に接する機会が増えることが予想されることから、海外における協力援助・看護活動のみならず国内での看護活動においてもグローバルな視点が求められており、国際看護を学ぶ必要性が高まっています。				